



横浜市立田奈小学校

平成 30 年 7 月 3 日

学校だより 7月号

校長 二瓶 光代
TEL 045-981-0009



みのたなくん

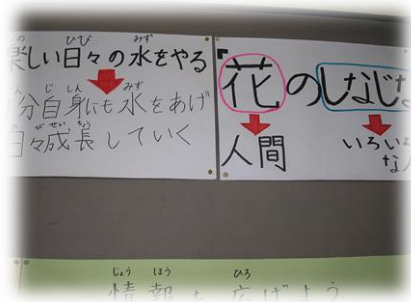
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

楽しい日々の水

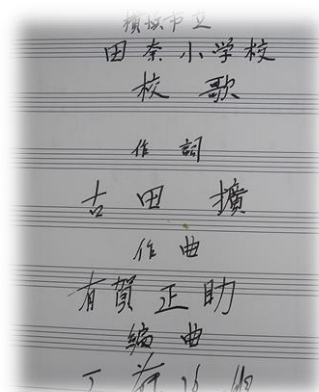
校長 二瓶 光代

田奈小学校は、6月25日、創立145周年を迎えました。校歌は、今から57年前の昭和36年につくられ、昭和47年ころは校歌にはふりつけがあったようで、100周年記念誌に「校歌ダンス」が踊れるようになったうれしさを綴った1年生の作文が載っています。作詞は、古田 拡（ひろむ）さん。国語教育者であり、いくつもの大学の教授を歴任した人です。作曲は、有賀 正助（まさすけ）さん。子ども向けのピアノ曲も作った芸大教授です。二人が作った校歌は、日本全国に多数あるようです。校歌は、多くが学校関係者または、学校関係者と何らかのつながりがあった人によって作詞されていることから、田奈小学校の教育関係者や地域の方の中で古田先生の教えを受けた人、または、親交があった人がいたのかもしれませんが。

21日に行われた子ども達による開校記念集会は、今年は校歌に焦点をあてた特色ある集会でした。企画委員の子ども達が、一番の歌詞「水をやる 花のしなじな」という部分について、「いろいろな子ども達を花にたとえて、自分自身にも水をあげ日々成長していく。」と、説明してくれました。校歌には、田奈小のめざす教育や子ども像が、見事に表現されています。私は、「水」という言葉の前についている言葉に注目してみました。そこには、「楽しい日々の」という言葉がついています。ただの水ではないのです。「楽しい」とは、例えば、一人ひとりが安心して毎日を過ごし、できるようになった喜び、自分が必要とされている喜び、自分がかげがえのない存在とを感じる喜びを味わうことだと思います。一人一人違ったよさがある子ども達の毎日が、そう感じることができるよう日々であることを願います。子ども達が楽しい毎日を創り出し、水をたくさん吸収していくことができるよう、これからも全職員で子ども一人ひとりをよく見て、声をかけ支援していこうという思いを強めました。そして、田奈小学校では、145年もの間、保護者の方や地域の方のご協力を得て子ども達を育ててきたことにありがたさを感じました。保護者の皆様、地域の皆様、これからもよろしくお願いいたします。



【子ども達が調べたこと】



【校歌の楽譜】